
ハーフ&ハーフ

おいどん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハーフ&ハーフ

【Nコード】

N4519T

【作者名】

おいどん

【あらすじ】

新しい恋に歩みはじめる

男女を男性視点から

詩のように書いてみます。

細かい設定はないので

今後いかに膨らむかは

作者も期待しています↑

さようなら、はじめまして(前書き)

初投稿です(〇;)

全くの初心者なので
表現や文章が至らないかも
しれませんが、”(ノ<>)ノ

寛大な心で

よろしくお願いしますm(|)m

さようなら、はじめまして

世の中はさ喧嘩とかしても

何かを半分に分けると

案外すんなりいくんだよね

それが

「感情」や「言い分」

「欲しい物」

だったとしてもそう。

分けられないものなんて
無いんだよ、仲良くね。

なんて嘘

真っ赤な嘘だよ

好きになったら
どうしようもない

「世の半分は女性なんだよ」

だから何？

妥協なんてできる訳がないし
したくもない

というかするものじゃ
ないんじゃないのかな

…でも好きになった人の為には
妥協することも大事なのかな？

自分の気持ちを
新しく塗り固めて殻にして
ガチガチに戻らないようにして

そして言うんだ
「ボクはイマ

好きな人なんていないよ」

本当はいるのに
今も変わらず好きなのに

好きだから、傷付けたくなくて
フラれてもなお、好きだから

「そっか、私は
新しい人が出来たんだよ」

相手の言葉に傷つかず
血も出ない

何も感じないと思っていたのに

固めた殻は
傷を固めてくれず
膿まさせるだけだと知ったのは

殻が血でふやけ
破れた後だった

さようなら、はじめまして(後書き)

いかがだったでしょうか？

これで連載にするのも

難しそうですが

頑張ってみます。(＊＾Ｏ＾＊)

今後の成長の為に！！

御意見募集致しております。

ハーフ オフ ハーフ（前書き）

久々の投稿です。

未だに拙く披露出来るレベルではございませんが、

何卒寛大な心で

宜しくお願い申し上げます。

ハーフ オフ ハーフ

止まらない
止まらない

幾度と滴り落ちるソレは
色も形も無いけれど

落ちる度に
ボクの心を裂いていく

まるで出口を
押し広げるように

まるで雛が
世界へ飛び出すように

新たに裂かれた所から
とめどなく流れるソレを
止めるためのクスリは

あるけれど、
手に入れるには程遠い

手に入れるまで
止まることのない痛みと
闘いつづける毎日に

ボクはいつまで
耐えればいいのか？

「彼はとても素敵なの」
「彼を一番好きなのよ」

今までのボクに対しての
クスリが今毒となって
ボクの体を蝕む

この劇薬を求める両の腕に
この傷を塞ぐ薬を手にする
日はいつ来るのだろうか

ハーフ オブ ハーフ（後書き）

どうだったでしょうか…？

なかなか上手い表現が思いつかず四苦八苦していました（汗

やはりこうやっていると現役の方を尊敬しますね（敬

暗く眩しい道

届かない
進めない

道はそこに広がっているはずなのに

見つからない
探せない

周りがあまりに眩し過ぎて

いつになっても毒は身体を蝕む
なのに身体は覚えてしまった

「クスリだった」ものを
「だった」ものの味を、形を

今では毒になってしまったものを
身体は追い求めつづける

いけない、と
自分が傷つくだけで

頭は理解しているのに

快楽を、安心を、

今ではもう得られないものを
身体は追い求める

砂漠で見つけた毒瓶のように

分かっているのに

身体は求める、いつまでも

分かっている

いつまでもここには駄目だと

前に進まなければ

成長しないのが人だと

けれど周りは暗く眩しい

自分は堕ちに落ち

一縷の望みすら見えない

しかし、用意された道筋は
明るく照り輝いている

今その明かりは眩しく目を背けてしまう

暗闇に、地に、後ろに

目を向けてもしようがないのに

光に、空に、前へ

進まないという意味がないのに

変わらなければ

動かなければ

分かっているのに

身体は、動かない

身体は毒を求め

頭はクスリを求め

相反する自分を一つにした自分は
どう変わるのだろうか

暗く眩しい道（後書き）

いかがだったでしょうか

久しぶり過ぎて勢い半分ですが
きちんと書けているか不安です

頑張って続けます（ゝ・ω・ゝ）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4519t/>

ハーフ&ハーフ

2011年10月8日20時26分発行